

みんなの議会

2012年8月
第50号

創刊50号記念・全道広報コンクール「特選」記念号



笑顔で、ごはん

主 な 内 容

平成24年第2回定例会・	
議決された意見書	P 2
一般質問	P 3～P 5
広報コンクール特選	P 6～P 7
50号記念特集	P 8～P 9
議会の動き	P 10～P 11
みんなの広場・あとがき	P 12



平成24年 第2回定例会 6月20日

3月の第一回定例会で決まっていた予算に、今回の定例会で約六千万円の補正が加えられました。

3月 定例会の決定 **48億円**

■主な補正

旧・北竜地区館の解体	160万円
国民健康保険の助成	3千640万円
アイトナイ川・しぐれ沢の工事	620万円
雪害でのプールの屋根の修繕工事	372万円
+) その他	1千238万円

補正後の総額 **48億6千030万円**

●**値上げする国保に助成**
国保税がまた上がりますが、今年の上がる分の、二分の一を町が負担します。国保は高齢化などで平成十九年から町民の負担額が急激に伸びており、そこに投入してきた町の基金も減ってきたための対策です。



●小学校の落雪による事故

三月一日、校舎前に駐車していた二台の自動車が見えやすくなり、一部を壊しました。その損害賠償に修理費の二十パーセントである二十八万円を町が負担します。

●暴力団の排除を強化

暴力団の不当な要求を町の仕事を請けた業者だけではなく、その下請け業者も受けたとき、道警に連絡する義務などを加えました。

●町三役の七月分給与減額

プール「B&G海洋センター」の屋根が雪で破損した管理監督の責任者として町長、副町長、教育長の七月分の給与を一律十パーセント減。



中の鉄骨のゆがみを見えやすく屋根をやぶいたプールの東側。

議決された意見書

■森林・林業・木材産業施策の積極的な展開

森林は地球温暖化の対策に効果的です。また、東日本大震災の被災地の復興に必要な木材や、津波対策も踏まえた海岸の防災林の整備も重要です。

それらを国が、実現するよう要望いたしました。

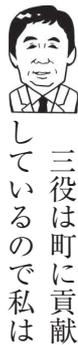


●震災住宅二重ローン対策

東日本大震災で失われた家と、再び建てた家のローン

ン控除を重複適用できるようにしました。現在、沼田町には対象者はいません。

〈絵内議員の質疑〉



三役は町に貢献しているので私は給与の減額に反対です。むしろ重要なのは、三役がなぜ、担当部署に未然に防止する策をとれなかったかです。

〈討論の結果、原案を採決〉
三役の減額給与の合計は十八万三千六百円です。

●外国人も印鑑登録が可能

沼田町に住所があるなどの条件で、外国人も印鑑の登録ができるようになります。



●前年度、一・九億円剰余金

剰余金は、今年度に完成する小学校の旧校舎の解体経費の一・三億円などに、活用される予定です。

町長への一般質問

問 沼田町農産加工場の

トマト洗浄機の導入の目的は

答 効率化と、品質向上



高田 勲
議員

問 我が町の農産加工場の主力製品は、トマトジュースです。八月に入ると生産が始まりますが、今年度トマト洗浄機の導入が計画されています。

従来トマトジュースの生産能力は、一日あたり五トンと言われて来ました。今回の五百二十万円の設備投資によって、生産能力はどのくらい向上するのか。また、生産能力を向上さ

せて出来た余力を、どのようにして儲けにつなげていくのか。

現在の生産方法は八月と九月で一年分を製造しているが、作業の平準化や在庫管理等の観点から、リパック（再封入）方式による生産は考えられないか。



トマト洗浄機は七月上旬に設置する予定です。この設備の導入により人員配置を変更して、一日あたり四百リットル（二千五十缶）の増産が可能となります。従来は連続して五トンの処理が困難でしたが、連日五トンの処

理が可能となります。

収穫から製品化されるまでの時間短縮や、洗浄と加工が同時進行することから、従来以上に鮮度が確保され品質向上につながり、原材

料の腐敗も減少します。

現在はフレッシュ充填のみですが、今後トマトの作付けが拡大すれば、処理能力との兼ね合いでリパック方式の検討も行います。

すでに高齢者の方には個別収集で対応しています。

現状では、全戸の家庭を回することはできませんが、現在運行している収集ルート上に数カ所を設定して頂ければ個別収集は可能です。

また、回収回数を見直し、管理をする人員の配置等は町民の負担を伴う部分もありません。経費の節減にも努めながら、町民に不便をかけるないゴミ収集をしたいと思っています。



渡辺 敏昭
議員

問

ゴミの収集は、市街地区は個別収集ですが、農村部は、行政区ごとに数カ所の集荷方式です。

これでは、市街地との差を感じます。農村部も同様に、全てのゴミの個別収集をするべきではないでしょうか。

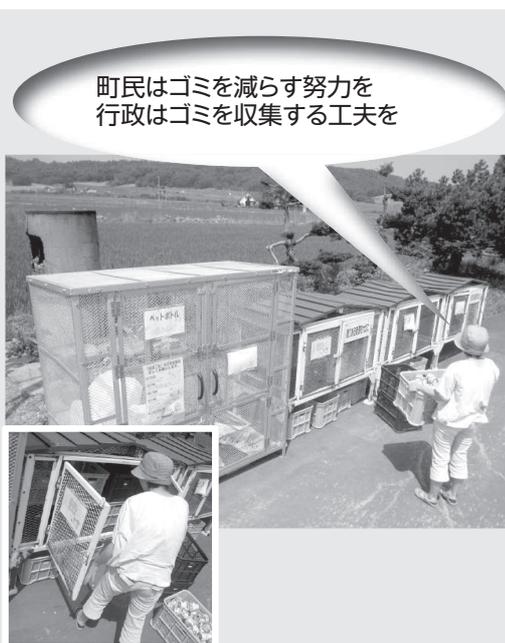
また、役場の裏にある「リサイクル回収センター」を無人化する計画がありますが、資源ゴミの管理を徹底するためにも、管理をする人が必要です。現状を維持できないか。

問 農村部もゴミの個別収集を

答 現在の収集ルートであれば可能



農村部の収集は一カ所か、数カ所に集約して頂きたい。ただ、農村部であっても、



▲更新会館のゴミ・ステーション

問 渡辺敏昭議員の、そのほかの質問

沼田町の、この夏の節電対策は答 広報する。役場は一部、節電中。

台湾の方々にも、沼田町の缶ジュースは大人気♪



▲2月18日、台湾のスーパーマーケット

問 高齢者のために平家の公営住宅を造るべきではないか

答 「生活総合基本計画」に織り込む

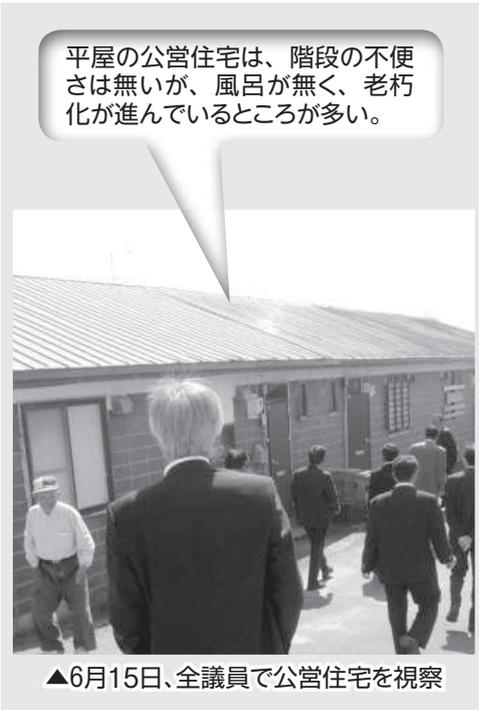


問 沼田町の公営住宅は三百九十六戸あり、空きは二十五戸しかなく、入居率九十三・七%という非常に良い状況です。

しかし沼田町は人口三千五百人の内、六十歳以上が三分の一である少子高齢化の時代を迎えています。高齢者は一階の住宅を希望し



絵内議員は住宅選考委員であるな



平屋の公営住宅は、階段の不便さは無いが、風呂が無く、老朽化が進んでいるところが多い。

▲6月15日、全議員で公営住宅を視察

ど、状況に詳しいと思えます。今年度の予算で「沼田町住生活総合基本計画」を策定します。

沼田町が最後に建てた公営住宅はコアタウンが平成十二年ですから、もう十年以上も建てていないわけです。ですから、高齢者や、

子育ての世帯が入れる公営住宅を適切に配置し、同時に今ある公営住宅から住み替えなどが起きれば問題は解決されるでしょう。

また風呂なしの公営住宅には去年から順次、整備を進めています。

総合的に、計画をします。

問 「政策推進室」の意義と効果は

答 各課を横断し、スピード感で実行



問 いよいよ金平町長の独自の予算年度がスタートし、その象徴として政策推進室が新設しました。その意義と効果を説明願いたい。

また、二つ違和感があります。一つは、室が政策を選択に至る過程に密着性が高い。室が新設されてからの三カ月間、町民や議会と項目の選択の議論をしていません。しかしすでにコン

サルタントに発注している項目もあります。では役場とコンサルタントだけで推進するのが沼田町の政策なのか、と疑問を持ちます。

もう一つは、取り組む項目が八十あるそうですが、



▲7月5日、政策推進室長等と議会で、佐呂間と湧別の病院を視察。

むしろ大きく一つか、二つにしほって、一気に果敢に進むべきではないか。

さらに町長は給食センターの新築を含む計画は、「深川市の出方を待つてみよう」と言っていました。そうならば給食センターのインシアチブを深川市にあずけ、沼田町の食育や地産地消の理念も深川市にあずけることになるのではないかと。このような大きい思い切った政策推進ができるのは、三千五百人の中では金平町長ただ一人ではないでしょうか。



設置の目的は、昨年度に策定した「沼田町第五次総合計画」

の実行のために、効果的な政策を企画立案するためです。各課を横断し、スピード感を持って実行します。

秘密裏には進めませんが、まだ議会や町民に話す状況ではありません。

給食センターなども、私は町民を守る立場で、町として言うべきことはきちんとお伝えしなければなりません。

問 花嫁対策と、出産費用の助成を

答 お母さん達と懇談したい



上野 敏 夫
議員

問 少子高齢化が進む中で、沼田町の花嫁対策について、本年の取組でどのような計画があるか聞かせていただきたい。

又、結婚し、出産した際の出産祝い金制度が、以前あったが、復活する考えがないか、一人目だけでなく、二人目、三人目はそれなりの助成をする考えはないか

伺いたい。

更には、不妊治療の助成、各種ワクチンの助成、水道料の支援をしている町村もあるが、出来ればゴミ袋の助成などは考えていないか。町長の考えを聞かせて頂きたい。



出産祝い金、赤ちゃんが生まれた

若い世帯の助成についてはまだ若い世代のお母さん達との懇談する機会が取れていません。

今年、お母さん達と懇談



した中で、ゴミ袋助成の件も含めて、実際どういったことで困っているか、何が子育てに応援できるのかを含めて検討したいと思っています。

又、他町の政策の話がありました。沼田町の状況を把握して本当に沼田

問 企業誘致をやる気があるのか

答 相応の優遇策も必要なので検討する



中村 保 夫
議員

問 深川市では今年度から、道内トップクラスの一企業あたり二億六千五百万円

の助成をする方針を打ち出しました。沼田町の企業誘致が遅れるのではないかと焦りを感じております。

直近五年間の企業誘致関連費用と成果を伺います。近隣市と同程度の誘致待遇をするのであればどのくらいの費用がかかるか伺いま

町で必要な事は何かを考えたと思っています。

農業振興課長

農業後継者の配偶者

対策として、平成十二年より農業実習生受け入れ対策事業とグループ婚活支援などを行っております。

誘致企業にとって沼田町の優遇策以外の魅力は何が、もはや、『エビで鯛を釣るがとき手法』では来てく

れる企業はないと思うかどうか。企業誘致に関わるアイテ

ムとしてホームページがありますが、更新された形跡がありません。やる気がないのであれば、企業誘致の看板をおろしてはどうか。



この五年間でアンケート調査にか

けた費用は千二百万円ほどで、有意回答があり訪問し

た企業が七百二十七社です。

進出企業が二社、事業拡大が一社、震災の影響で進出が遅れているのが一社という状況です。

私どもの誘致助成は、工場設置に五千万円ですが、個別での対応も考えなければならぬと思います。

ご指摘を受けて、それ相応の優遇策も必要かなと思いますので、検討させていただきます。

ホームページが更新されていない点については陳謝します。



かんばんが泣いている

『みんなの議会』が ふたたび全道特選になりました (最優秀賞)



北海道町村議会時報 553号より転載
講評は広報プランナー和田雅之氏

特選

みんなの議会
第48号 24年2月発行
(空知管内沼田町)

楽しさがあり、親しみのもてる紙面である。これも一般質問の議員の似顔絵によるところが大きいと思う。手に取りたくなる議会報は、何といたっても役所臭のないものということになるようだ。こうしたことが、住民と議会報の距離を近づけるのである。議員だけによる製作体制も、ここにかけて定着した感がある。うれしいことである。今後は議員の目による大型企画を、ぜひ取りあげてほしい。

創刊以来の似顔絵



どの似顔絵が誰か、判りますか？
(ヒント:2回でてくる人もいます)



ごあいさつ

沼田町議会議長 杉本 邦雄

この度、第63回北海道町村議会議長会定期総会の席上で、沼田町議会広報誌「みんなの議会」第48号が全道144町村議会広報誌の中から特選として平成21年度に続き2度目の最優秀賞を授与されました。

沼田町の議会広報誌は創刊号から企画・編集・原稿・写真・取材・デザイン・レイアウト等すべてを、広報委員長を中心に議員だけで作成しています。また、校正なども2度3度と繰り返し、町民にとって解り易い文書で表現力のある見出しや似顔絵・写真など、「読者本位の編集」の姿勢が買われています。

沼田町議会では「地方分権の時代」における議会のあり方として、議会改革にも取り組んでいます。分権時代において町政の自己責任等が求められる時代ですので、議会と町民との「懇話会」等を通じて更なる意見交換をし、町民皆さんと信頼関係を強めるため一層努力してまいります。

今回の受賞は議会活動で忙しい中、広報委員長を中心に4人の委員の皆さんの優れた力量とセンスの良さ、そして努力の賜物であり敬意と感謝を申し上げます。



「特選」受賞おめでとうございます

初代広報特別委員長 橋場 守

全道町村議会コンクールでの「特選」受賞おめでとうございます。日頃の研鑽に心から敬意を表します。前期までも私を除くと若かったのですが今期は更に委員が若返りました。そのセンスが構成に活かされているのだと思います。

広報の仕事は「裏方」です。一般質問について言えば「申し合わせ」の字数の中に質疑全体から核心を正確に引き出して文章にします。したがって、発言以上のものは書けません。

また、議会活動の形態はどの自治体もあまり変わらないと思います。問題は政治的質の高さが問われていると思います。

町民の隅々の暮らしと国政とのかかわりも含めて活動されることを願っております。それらを住民奉仕の立場で政治性の高い、そして読んでもらえる「広報」にと一層の発展を願っています。

町民の皆さんにこそ、見ていただきたい

みんなの議会、



お知らせ版も好評です

三月定例会から一般質問項目をチラシの形で告知しています。

そのかいあって、三月には二十二人、六月には九人の傍聴者に来ていただきました。

例年であれば、二〜三人ですから、効果があったと思っています。

ぜひ、あなたも傍聴に来てください。

みんなの議会 特別版 24年3月号

期次	質問者	質問項目	答弁者
1	高田議員	農産物加工の取り組みを推進するために	町長
2	橋本議員	田舎の道の拡充整備について	町長
3	橋本議員	田舎の道の拡充整備について	町長
4	橋本議員	町営施設について	町長
5	小島議員	今年度の決算と「民間委託」の進捗について	町長
6	上野議員	健康経営と自治体職員の健康について	町長
7	中村議員	防災訓練について	町長

3月20日 10:00— 一般質問報告（町長） 執行役員報告（町長）
13:00— 一般質問（7名）

議決、投票3時 議決までお呼び下さい。

傍聴者の入場券、傍聴券は必ずお持ちください。

一般質問受付センター（図書室）から入り、エレベーターを利用すると便利です。

一般質問受付センター（図書室）受付時間：午前8時～午後5時（土曜、日曜、祭日を除く）

お問い合わせ：総務課 広報係

第1次広報特別委員会

H12年10月～H15年4月

委員長 橋場 守
副委員長 杉本 邦雄
委員 吉田 俊一
委員 室田 俊朗
委員 絵内 勝己



「みんなの議会」
創刊

すずらんのまち

ぬまだ町

みんなの議会

2000年5月
創刊号



「すずらん」のまち

ぬまだ町

みんなの議会

2001年4月
第5号



NHK連続ドラマすずらん
主演 滝野田子さん

「瀧く雪」のまち

ぬまだ町

みんなの議会

2004年2月
第16号



「瀧く雪」のまち

ぬまだ町

みんなの議会

2005年2月
第20号



平成成人式

一般質問……………P 4～8
平成14年度決算委員会……………P 9
議会のうきき……………P 10～11
(議会開催及び委員会研修報告)
みんなの広場……………P 12
あとがき……………P 12

全道入選になった
第16号

「瀧く雪」のまち

ぬまだ町

みんなの議会

2006年2月
第24号



学童保育で楽しい遊戯後

おもな内容

平成17年第4回
定例会議案……………P 2
議決された意見書……………P 3
第4回・第1回臨時会……………P 3
一般質問……………P 4～7
一口メモ……………P 7
議会の動き
決算委員会報告……………P 8
産建委員会報告……………P 9
みんなの広場……………P 10
あとがき……………P 10



第2次広報特別委員会

H15年5月～H19年4月

委員長 橋場 守
副委員長 上野 敏夫
委員 杉本 邦雄
委員 津川 均夫
委員 中村 保夫



『輝く雪』のまち ぬまた町
みんなの議会 2012年2月 第48号



ふたたび全道特選に
 なった第48号

第4次広報特別委員会
 H23年5月～

- 委員長 中村 保夫 
 副委員長 長原 誠 
 委員 鵜野 範之 
 委員 久保 元宏 

雪が大

『輝く雪』のまち ぬまた町
みんなの議会 2011年10月 第47号



笑顔がいっぱい

『輝く雪』のまち ぬまた町
みんなの議会 2009年7月 第38号



支えられて
 愛されて
 おかげ

50

主な内容

- 平成23年第4回定例会……………P2
- 議決された意見書……………P2
- 議会改革について……………P3
- 町長への一般質問……………P4～P7
- 議会の動き
- 決算等審査特別委員会……………P8～P9
- 産健福祉常任委員会 調査報告……………P10
- 総務民政常任委員会 研修報告……………P11
- みんなの広場……………P12
- あとがき……………P12

主な内容

- 平成23年第3回定例会議案……………P2
- 議決された意見書……………P3
- 町長への一般質問……………P4～P6
- 農業委員会会長 教育長への一般質問……………P7
- 議会の動き 北空知識進中央要望……………P8
- 各委員会所管調査……………P9
- みんなの広場……………P10
- あとがき……………P10

主な内容

- 平成21年第2回定例会議案……………P2
- 議決された意見書……………P3
- 一般質問……………P4～7
- 第3・4・5回臨時議会……………P7
- 特集・みんなの議会が特選に……………P8～9
- 議会の動き 議員セミナー……………P10
- 研修・協議会……………P11
- みんなの広場……………P12
- あとがき……………P12

『輝く雪』のまち ぬまた町
みんなの議会 2009年2月 第36号



2009年がスタート
 年末年始の町内の様子

高穂スキー場が待望のオープン 1月3日



年越しイベント歩き隊 12月31日

主な内容

- 平成20年第4回定例会議案……………P2
- 議決された意見書……………P2
- 議会広報の似顔絵を一新……………P3
- 一般質問……………P4～6
- 議会の動き
- 決算認定特別委員会……………P7
- 常任委員会研修報告……………P8～9
- みんなの広場……………P10
- あとがき……………P10

全道特選になった
 第36号

第3次広報特別委員会
 H19年5月～H23年4月

- 委員長 橋場 守 
 副委員長 中村 保夫 
 委員 渡辺 敏昭 
 委員 高田 勲 

『輝く雪』のまち ぬまた町
みんなの議会 2007年8月 第30号



協働で花壇整備

おもな内容

- 初議会 議会構成・議長就任挨拶……………P2～3
- 平成19年第2回定例会……………P4
- 議決された意見書……………P5
- 一般質問……………P6～10
- 議会の動き 議員研修……………P10
- 議員セミナー……………P11
- 沼高存続陳情……………P12
- みんなの広場……………P12
- あとがき……………P12

この号は第30号と書こうと、特別カラーになりました。



議会の動き

道町村議員研修

七月三日

札幌コンベンションセンターで議員研修があり、全議員が参加しました。前段は明治大学教授の牛山久仁彦氏が「議会改革の展望と課題」と題し、自治体議会の現状と、自治体立法を主体として、政策のあり方や政策法務への理解を深めて、政策立案が必要であるとの事でした。

後段はテレビでよく見かける外交ジャーナリストの手島龍一氏が「世界の中の



日本・アジアの中の日本」と題して、ロシア、中国の影響力（尖閣、北方領土問題）と北極海航路（海路の縮小による経費のメリット）の重要性についての講演をされました。



空知議員研修

七月二十日

南幌町農村環境改善センターで議員研修会がありました。

北海道大学大学院助教の東山寛氏が「TPP問題と地方の暮らし」と題し講演されました。

TPPは物、人、サービスに関する関税障壁をすべて撤廃する協定で、地域経済、特に北海道農業へのダメージは計り知れません。

米国の一方的かつエゴな交渉に参加すべきではない、とのことでした。



議員セミナー

七月九日



沼田小学校・中学校で「イベント炊飯」が行われました。

このイベントに町長、教育長、全議員でその様子を見て、一緒に給食を食べてきました。

普段は給食センターから届くおかずと、家庭から持参するご飯を食べており「温かくておいしい」と好評でした。

今年炊飯器を6台購入。今後、年2回程度取り組まれます。



小学校改築現場を視察しました。

十二月の完成に向け順調に作業工程が進んでいます。斬新な外観が、ほぼ出来上がり、内装の間仕切りの作業に入ることです。

議会では今回で三度目の視察ですが着々と出来上がりの状況に安心していきます。

三学期からの使用を楽しみにして下さい。



産建福祉

常任委員会

六月二十九日

今回の所管事務調査は「福祉環境」について調査を行っています。

今後、少子高齢化時代を迎え、子育て支援、福祉介護の取り組みを考えます。

これまでに、保健福祉課より、本町の状況説明を受け、先進地視察を数か所予定しています。



和風園での診察

今回は幌加内町朱鞠内の小規模多機能型居宅介護施設「よるべさ」に行ってみました。

小規模多機能型居宅介護は「通い」を中心として、要介護者の様態や希望に応じて、「随時」「訪問」「泊まり」

を組み合わせてサービスを受け、中・重度となっても在宅での生活が継続できるように支援するものです。

一日当たりの「通い」の利用者は、一五名以下、「泊まり」の利用者は、五〜九名が上限です。

「よるべさ」は幌加内町から指定管理を受けて、管理運営をNPO法人が運営

まちづくり調査特別委員会

七月五日

今回の調査は「地域医療福祉」厚生病院の建設、「公共施設の老朽化」加工場、公営住宅、体育館などの今後のあり方について考えます。

今回視察は佐呂間町の「佐呂間厚生クリニック」と湧別町の「ゆうゆう厚生クリニック」に行ってみました。

どちらも、病院から無床診療所に転換をしたところですが、地域により病院の考え方が違っていました。

更に、地域医療にたずさ

している小さな集落向けの介護サービスです。



『よるべさ』の説明を受ける

わってくれる医師の確保が難しい事を聞かされました。



総務民教

常任委員会

六月二十六日

『地域防災について』

■11月27日からの本州への視察に向けて、下記のような「沼田町の防災の課題」を協議しています。

- ・ 役場にバックアップ電源が無い。・・・災害本部となるのに、非常時に役に立つのか。
- ・ 町民が各自の避難所がどこか分からない。・・・PR不足。避難所まで歩く行事を企画してはいかかがか。
- ・ 町内会ごとの自主防災組織が、ほとんど未結成。・・・安否の確認の情報経路が無い。
- ・ 防災会議を年一回以上行うべき。・・・自衛隊、消防、警察、病院、行政、自主防災組織が集合すべき。
- ・ 防災教育。・・・各種災害の事例や対策。また、児童・生徒を保護者へ引き渡しする訓練が必要。
- ・ 災害時に必要な作業用品や生活用品を収集し分配する仕組み作り。・・・水害時の土のう袋の確保など。

スノークール・ライス・ファクトリーの自家発電装置

和風園夏まつり

七月二十一日、『第二十
五回和風園夏まつり』が開
催されました。

素晴らしい天候に恵まれ
和風園の中庭の夏祭り会場
では、入所者と家族の皆様
が、楽しいひと時を過ごさ
れておりました。

会場では職員、ボランティア
による模擬店がたくさ



んあり、ステージでは、「和
風園カラオケクラブ」及び、
家族のカラオケ、抽選会等
のアトラクション等も行わ
れとても和やかで楽しい一
日でした。

又、園内には、生花クラ
ブ、書道クラブ、切り絵ク
ラブの作品が展示してあり、
来園者の皆様は、作品の出
来栄えに見入っていました。



あとがき

木を植えませんか。

木というものは、今年植
えて今年収穫できるものでは
ありません。四十年、五
十年の歳月を経て材木とな
り、人間の役に立つものとな
ります。又、百本植えた
からと言って、百本収穫出
来る訳ではありません。た
くさん植えて競り合わせて
長さを確保したり、ネズミ
や鹿の餌になるものもあり、
せいぜい十本程度の収穫と
なります。なんと効率の悪い
ことでしょうか。

政策も今年作った政策が
今年の役に立つとは限りま
せん。お金をかけて、長い
歳月を経て、その町の風土
を形成するような政策もあ
ります。なんと効率の悪い
ことでしょうか。

でも必ず必ず必要なこと
です。

樹を植えてみませんか。

みんなの広場

雪にもTPPにも 負けない

JAきたいぶき 沼田地区代表理事 **大西純一**



日頃、Aコープ・貯金室等を御利用頂き、町民の皆様には大変御世話になっており、心から御礼申し上げます。

沼田町の組合員は水稻面積が平均で約17ha、畑作面積を含めると平均で約20haの作付をしており、水稻に付いては全道・全国でもトップだと自負しております。農家の努力もありますが、町で建てて頂いたライスファクトリーをはじめとした町行政・各関係機関支援の賜物であり、農家を代表して感謝申し上げます。

さて、今冬は例年にない大雪に見舞われて、雪に慣れているはずの私たちにとっても経験の無い積雪でした。ハウス・建物などの損害もあり、被害に遭われた方には御見舞い申し上げます。

春先の融雪の遅れから水稻の播種作業も2週間位遅れましたが、その後の好天で、今では例年通りに生育が進んでおります。これは組合員の弛まぬ努力で、概ね5月中に田植えが終了した成果でもあり、感謝申し上げます。このまま豊穡の秋が迎えられると期待しているところであります。

しかし、組合員の努力だけではどうにもならない事があります。そのひとつが外圧ですが、特にTPPは影響が大きすぎて、「沼田町農業の崩壊」も懸念されます。町民皆様にも是非、TPP反対の御理解・御協力と御声援を御願い申し上げます。

最後になりますが、私どもJA北いぶきとして、これからも沼田地域から信頼され愛される事業展開をしてまいります。どうか沼田町民皆様と行政・各関係機関のさらなる御支援・御協力を宜しく御願い申し上げます。

広報特別委員

中村保夫 長原 誠

鶴野範之 久保元宏